



# B 3 長崎市ならではの教育の充実

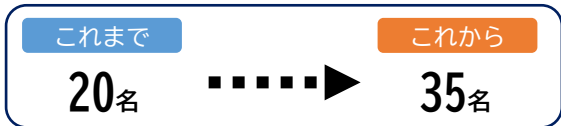
少子化対策

## ●学びの支援

ICTを取り入れながら、個別最適な学びを推進します。

### 教員業務支援員配置費

子どもたちが抱える困難が多様化・複雑化するなどの理由により、教職員の業務が積み上がり、危機的状況にあることから、教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）を増員し、教職員の負担を軽減し、教育活動のより一層の充実を図ります。



### デジタル化推進費

長崎大学と連携し、子どもたちがVR・ARや3Dプリンター、プログラミングなどの最新のテクノロジーを体験できる機会をつくり、本格実施に向けた実証事業に取り組みます。また、認知度向上と企業連携の促進を目的として長崎スタジアムシティハピネスアリーナでイベントを開催します。



## ●誰ひとり取り残さない不登校支援

一人一人のニーズに応じた多様な学びの場や機会を提供します。

給食調理等運営費  
 通学対策費  
 運営費（中）  
 管理費（中）

不登校生徒の多様な教育機会を確保するため、特別な教育課程を編成した「学びの多様化学校（桜馬場中学校分教室『のぞみ教室』）」を令和8年4月に開校します。

### 不登校支援のイメージ図

